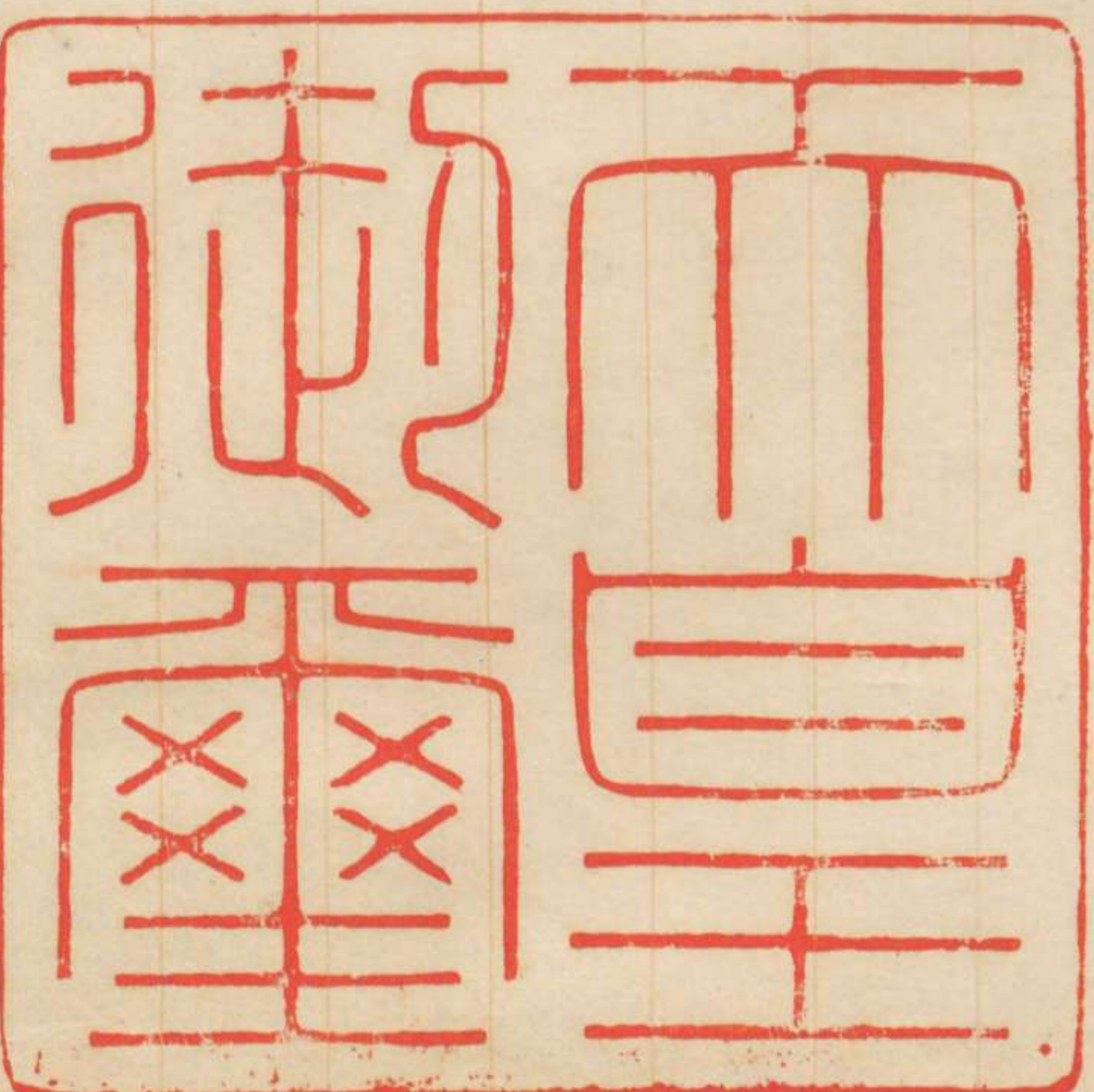


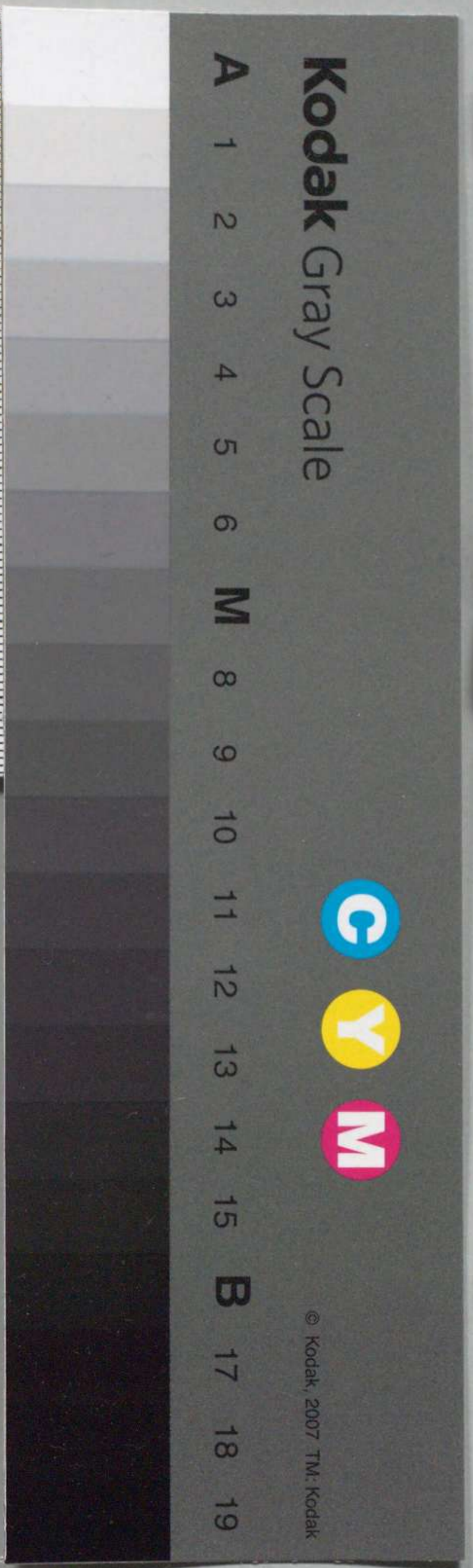
佐藤 十郎

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル航海獎勵法
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十九年三月二十三日



内閣總理大臣臨時代理

樞密院議長伯爵黒田清隆

逋信大臣 白根專一

法律第十五號

航海獎勵法

第一條 帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ
社負若ハ株主トスル商事會社ニシテ
自己ノ所有ニ專屬シ帝國船籍ニ登録
シタル船舶ヲ以テ帝國ト外國トノ間
又ハ外國諸港ノ間ニ於テ貨物旅客ノ
運搬ヲ營業トスル者ニハ此ノ法律ノ
規程ニ依リ其ノ船舶ニ對シ航海獎勵金ヲ
下付ス

第二條 此ノ法律ニ依リ航海獎勵金ヲ受クヘキ船舶ハ總噸數一千噸以上ニシテ一時間十海里以上ノ最強速力ヲ有シ遞信大臣ノ定ムル造船規程ニ合格シタル鐵製又ハ鋼製汽船ニ限ル

第三條 航海獎勵金ヲ受ケムトスル船舶ノ所有者ハ其ノ船舶ニ對シ豫メ遞信大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第四條 左ノ船舶ハ航海獎勵金ヲ受クルコトヲ得ス

第一 此ノ法律施行以後帝國船籍ニ登録ノ際製造後五箇年ヲ經過シタル外國製造ノ船舶

第二 製造後十五箇年ヲ經過シタル船舶

第三 帝國政府ノ命令ニ依レル航路ニ使用スル船舶

第五條 航海獎勵金ハ總噸數一千噸ニシテ一時間十海里ノ最強速力ヲ有スル船舶ニ對シ總噸數一噸航海里數一

千海里ニ付二十五錢ヲ支給シ總噸數
五百噸ヲ増ス毎ニ其ノ百分ノ十最強
速力一時間一海里ヲ増ス毎ニ其ノ百
分ノ二十ヲ増給ス但シ總噸數六千五
百噸以上又ハ最強速力一時間十八海
里以上ノ船舶ニ對シテハ總噸數六千
噸又ハ最強速力一時間十七海里ノ船
舶ニ對スル割合ニ依リ支給ス
航海獎勵金ハ製造後五箇年ヲ經過セ
サル船舶ニ對シテハ全額ヲ支給シ五

箇年ヲ經過シタル船舶ニ對シテハ一
年毎ニ其ノ百分ノ五ヲ遞減ス
航海獎勵金ヲ算定スルニハ一噸未滿
一海里未滿ノ端數ヲ算入セス

第六條 航海里數ハ各港間ノ最近航路
ニ依リ之ヲ算定ス

帝國各港へ寄港シ外國へ發航スル船
舶ニ在テハ最終ノ寄港地ヲ起點トシ
又外國ヨリ發航シ帝國各港ニ寄港ス
ル船舶ニ在テハ最初ノ寄港地ヲ終點

トシテ其ノ航海里數ヲ算定ス
航海里數ヲ證明スルニハ寄港地官廳
ノ寄港證明ヲ以テスヘシ

第七條 遞信大臣ハ命令ヲ發シ相當ノ
金額ヲ給與シテ第三條ノ認許ヲ受ケ
タル船舶ヲ公用ノ為ニ使用スルコト
ヲ得

船舶所有者前項ノ給與金額ニ對シ不
服アルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日
ヨリ三箇月以内ニ裁判所ニ出訴スル

コトヲ得

前項ノ出訴

停止セス

第八條 第三條ノ命令ニ依リ左

ノ所有者ハ遞信大臣ノ命令ニ依リ左
ノ割合以内ニ於テ該船舶ノ費用ヲ以テ航
海修業生ヲ該船舶ノ組マシメ同大
臣ノ定ムル手當ヲ給與スヘシ

總噸數一千噸以上二千五百噸未満 二人
總噸數二千五百噸以上四千噸未満 三人
總噸數四千噸以上 四人

トシテ其ノ航海里數ヲ算定ス
航海里數ヲ證明スルニハ寄港地官廳
ノ寄港證明ヲ以テスヘシ

第七條 遞信大臣ハ命令ヲ發シ相當ノ
金額ヲ給與シテ條ノ認許ヲ受ケ
タル船舶ヲ公用ニ使用スルコト
ヲ得
船舶所有者前項給與金額ニ對シ不
服アルトキ
ヨリ三箇日
通知ヲ受ケタル日
判所ニ出訴スル

コトヲ得

前項ノ出訴ハ使用ヲ停止セス

第八條 第三條ノ認許ヲ受ケタル船舶
ノ所有者ハ遞信大臣ノ命令ニ依リ左
ノ割合以内ニ於テ其ノ費用ヲ以テ航
海修業生ヲ該船舶ニ乗組マシメ同大
臣ノ定ムル手當ヲ支給スヘシ

總噸數一千噸以上二千五百噸未満	二人
總噸數二千五百噸以上四千噸未満	三人
總噸數四千噸以上	四人

第九條 第三條ノ認許ヲ受ケタル船舶
ノ所有者ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クル
ニ非カレハ外國人ヲ其ノ本支店ノ事
務員若ハ該船舶ノ職員ト為スコトヲ
得ス但シ外國ニ於テ死亡其ノ他止ム
ヲ得サル事故ニ因リ船舶職員ニ缺員
ヲ生シタルトキハ該地官廳ノ公認ヲ
經テ之ヲ補フコトヲ得此ノ場合ニ於
テハ該船舶ノ所有者又ハ船長ヨリ直
ニ遞信大臣ノ許可ヲ請フヘシ

第十條 第三條ノ認許ヲ受ケタル船舶
ノ所有者航海獎勵金ヲ受ケ航海スル
場合ニ於テハ遞信大臣ノ命令ニ從ヒ
該船舶ニ郵便吏員ヲ無賃乗船セシメ
及該船舶ヲ以テ郵便物小包郵便物郵
便用品及小包郵便用品ヲ無料ニテ遞
送スヘシ

第十一條 第三條ノ認許ヲ受ケタル船
舶ノ所有者及其ノ承繼人ハ航海獎勵
金ヲ受ケ航海スル期間竝其ノ航海ヲ

終リタル日ヨリ三箇年間其ノ船舶ヲ
外國人ニ賣渡貸渡交換贈與質入書入
スルコトヲ得ス但シ其ノ船舶ノ既ニ
受ケタル航海獎勵金ヲ償還シタルト
キ又ハ天災其ノ他抗拒スヘカラサル
強制ニ因リ航行ニ堪ヘサルトキ若ハ
遞信大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ
限ニ在ラス

第十二條 遞信大臣ハ此ノ法律ニ依リ
船舶所有者ノ義務ニ屬スル事項ニ付

テハ直ニ其ノ代人若ハ船長ニ命令ヲ
下スコトヲ得

第十三條 詐偽ノ所為ヲ以テ航海獎勵
金ヲ受ケタル者又ハ第十一條ノ規程ニ
違背シタル者ハ一年以上五年以下ノ
重禁錮ニ處シ二百圓以上千圓以下ノ
罰金ヲ附加ス
前項ノ罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサ
ル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ依リ處斷
ス

第十四條 此ノ法律ニ依リ遞信大臣ノ
發スル命令又ハ第九條ノ規程ニ違背
シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ
罰金ニ處ス

第十五條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ
刑法數罪俱發ノ例ヲ用ユス

第十六條 詐偽ノ所為ヲ以テ航海獎勵
金ヲ受ケタル者ハ其ノ因テ得タル金
額ヲ償還セシメ第十一條ノ規程ニ違
背シタル者ハ其ノ既ニ受ケタル航海

獎勵金ヲ償還セシム

第十七條 船舶所有者此ノ法律ヲ犯シ
タルトキハ遞信大臣ハ航海獎勵金ノ
下付ヲ停止スルコトヲ得第十二條ノ
場合ニ於テ其ノ代人又ハ船長ノ犯シ
タルトキ亦同シ

第十八條 前數條ノ罰則ハ商事會社ニ
在テハ其ノ各條ニ掲クハ所為ヲ為シ
タル業務擔當ノ任アル社員若ハ取締
役ニ之ヲ適用ス

第十九條 此ノ法律ハ明治二十九年十月一日ヨリ施行ス